

かわせみ

2021
第88号
(11月15日発行)



お知らせ

バードウォッチングの季節になりました。冬鳥たちが戻っています。
双眼鏡を持って丸山公園を歩いてみませんか。

自然学習館では双眼鏡の貸出を行っています。(無料)

1～3月は「バードウォッチング入門」教室も行っていきます。



上尾市自然学習館

〒362-0065

上尾市大字畔吉178

TEL048-780-1030



1月 大人のバードウォッチング ①

初心者を対象に、双眼鏡の使い方
野鳥の探し方などを実践し観察します。

- ◆日時：1月14日(木) 9時30分～12時
- ◆定員：6人 18歳以上の方
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：双眼鏡(貸し出しあり) ※雨天中止
- ◆服装：活動しやすい服装
- ◆申込み：12月1日(火)から(市外の方 翌日から)



新春草木染～古代色を染める～

似紫色(にせむらさき)に
丹後ちりめんのストールを染めよう

- ◆日時：1月22日(金) 9時30分～12時
- ◆定員：8人
- ◆参加費：2000円
- ◆持ち物：エプロン、厚手のゴム手袋、
使用済みタオル
- ◆服装：汚れてもよい服装
- ◆申込み：12月1日(火)から(市外の方 翌日から)



イメージ

家族でバードウォッチング

初心者を対象に、カワセミ・マガモや
サギ類を観察します。

- ◆日時：1月31日(日) 9時30分～12時
- ◆定員：6人 (小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：双眼鏡(貸し出しあり) ※雨天中止
- ◆服装：活動しやすい服装
- ◆申込み：12月1日(火)から(市外の方 翌日から)



2月 真冬の昆虫を探してみよう

虫たちを中心に生き物の冬の生活を
さがします。

- ◆日時：2月6日(土) 9時30分～12時
- ◆定員：6人 (小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：防寒・活動しやすい服装 ※雨天中止
- ◆申込み：1月5日(火)から(市外の方 翌日から)



上尾天文台 土日祝日の午後、太陽の観察会を行っています。

大人のバードウォッチング ②

初級者を対象に、双眼鏡の使い方
野鳥の探し方などを実践し観察します。

- ◆日時：2月21日(日) 9時30分～12時
- ◆定員：6人
- ◆対象：18歳以上の方
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：双眼鏡(貸し出しあり) ※雨天中止
- ◆服装：活動しやすい服装
- ◆申込み：1月5日(火)から(市外の方 翌日から)



3月 早春の草花を見つけてみよう

草花や昆虫などを観察しながら
園内をまわります。

- ◆日時：3月20日(土、祝) 9時30分～12時
- ◆定員：6人 (小学生以下は保護者同伴)
- ◆参加費：無料
- ◆服装：活動しやすい服装
- ◆申込み：2月1日(月)から(市外の方 翌日から)



絵手紙教室

楽しみながら絵手紙を作ろう!

- ◆日時：3月13日(土) 9時30分～12時
- ◆定員：6人
小学生以下は保護者同伴
- ◆参加費：2000円
- ◆持ち物：お手拭きタオル
- ◆申込み：2月1日(月)から(市外の方 翌日から)



上尾丸山公園の鳥たち

展示ロビーにて「上尾丸山公園の鳥たち」

上尾丸山公園、自然学習館周辺の野鳥の写真や

はく製を展示しています。

冬は葉っぱが落ちて見通しもよくなり野鳥観察を
始めるには絶好の季節です。「バードウォッチング入門」では
初心者の方も大歓迎です。お気軽に参加して下さい。

展示期間：12月5日(土)～R3年1月17日(日)



各教室の申込みについて

- ◎受付初日市内在住の方：9時～17時
2日目から市外の方
- ◎教室申込：電話で申し込んでください。
(電話：048-780-1030)
- ◎有料の教室：参加費は教室当日ご持参ください。
(欠席の場合、キャンセル料を頂く場合有)
- ◎雨天中止と記載されていない教室は、すべて
雨天でも実施します。

自然観察会

自然学習館では、自然学習館周辺で
自然観察を行っています。四季おりおりの自然を身近に感じられる楽しい
ひとときを、自然学習指導員と一緒に
過ごしてみませんか。
子供から大人までどなたでも参加
できます。

- ◎開催日：毎週土曜日・日曜日 ※雨天実施
(自然学習教室の開催日を除く)
- ◎時間：午前は10時30分から。
午後は1時30分から。
所要時間は約1時間。
- ◎受付：当日、自然学習館の受付にて。
午前は10時から。午後は1時から。
- ◎参加費：無料

グリーンアドベンチャー

丸山公園内に約30分間で1周できるグリーンアド
ベンチャーコースがあります。コースを巡りながら名
札の付いている木について学んだり、番号札の付いて
いる木の名前を答えるという、自分が主体となって木
を学習する仕組みです。
いつでも体験できますので、どんどんチャレンジし
てください。
自然学習館の受付で午前9時から午後4時まで受け
付けています。





『森の忍者』梟（フクロウ）

フクロウは、昔から田畑のネズミをとってくれるので、益鳥えきちようといわれています。地方によって「不苦勞」または「福老」に通じるため縁起えんぎのよい鳥として人々に親しまれてきました。しかし、フクロウの個体数は年々減少してきています。丸山公園では、6年前には生息が確認されていましたが、現在は見るできません。2011年現在は、埼玉県レッドデータブックで繁殖個体群はんしょくこたいぐんが地域別危惧、越冬個体群が準絶滅危惧と判定されています。

フクロウは、ワシやタカと共に猛禽類もうきんるいに分類されます。肉食で、主にノネズミやモグラ、小型の鳥などをつかまえて食べます。森林の中では食物連鎖しょくもつれんさの頂点に位置します。その分たくさん小動物を捕食ほしよくしないと生きていけません。豊かな自然がないと子孫を残すことができないのです。

1 フクロウとミミズクのちがい

みなさんは、フクロウとミミズクのちがいがわかりますか。フクロウもミミズクも、フクロウ目フクロウ科の鳥で、生物学的には同じ種別です。一般には、右の写真のとおり、耳のような「羽角」があるのを「ミミズク」、ないのを「フクロウ」と呼びます。



2 森の忍者！

フクロウは夜行性であり、日中なかなか見ることはできません。木の枝で待ち伏せて音もなく飛行し、獲物えものに飛びかかることから「森の忍者」と呼ばれることもあります。風切羽かざきりばの縁にギザギザの構造があり、飛行時の音を消すはたらきがあります。走行音を低くするため新幹線のパンタグラフは、このフクロウの羽根の構造を参考にして作られたといわれています。



3 暗闇でどうやって獲物を見つけるの？

フクロウは平たいお面のような顔で、丸くて大きい頭です。目は大きく暗闇でも物がよく見えるように眼球がより発達し、人間と同じように顔の正面に目が2つ並んでついています。この構造だと視野は狭くなりますが、物体が立体的に見え、物体との距離を正確に見極めることができます。耳は顔の前の方について、その位置は上下左右非対称です。これにより、音が出ている位置を立体的に把握はあくできるといわれています。このような特徴を持つフクロウは、暗闇でも獲物を見つけ、正確に捉とらえることができます。



最近は「ふくろうカフェ」などで、気軽にフクロウにふれあうこともできるようになりました。しかし、フクロウはかなり神経質で、多くの見知らぬ人間と接触することはストレスとなり、中には体調を崩し命を落とす個体もあるそうです。できればバードウォッチングなどで遠目から観察してほしいものです。そのためにも、フクロウが暮らしていける環境を守っていくことが大切です。丸山公園でもフクロウが観察できるようになるといいですね。